



背景 千葉県白井市は利根川や手賀沼、印旛沼が近く湿地の多い地域です。近年まで田んぼや緑地、小川などが広がっていましたが、1980年代から宅地化が進み、地域の生きものが暮らす豊かな自然も、子ども達が自然に親しみ遊ぶ姿も少なくなっていました。

まどか幼稚園では子ども達が自然に触れる機会がより多くなるよう保育や親子活動をおこない、2009年にビオトープを作りました。日本生態系協会主催の全国学校・園庭ビオトープコンクールにおいては生態系協会賞を5回いただき、近年は市と協働で調整池での自然体験活動にも取り組んでいます。2016年には学童保育ratoonを設立し、農業や自然を存分に味わいながら、探求心や将来の夢を育む地域の子ども達を見守っています。

これまでの取り組みを発展させたいと考え、この度当法人設立に至りました。「子ども達をはじめ地域の子育て世代のご家族」と「長年地域活動に尽力されている団体や市」との橋渡し役として両者の繋がりをサポートしながら、自然・農への興味関心を促進することで、人も自然も健やかな地域社会実現の一助となるよう働きかけ、子ども達の豊かな心と未来を育みます。

- 目的**
- ・自然や農に触れる体験を通し、子どもの豊かな感性・情緒・創造力を育む。
 - ・地域の自然や文化の魅力を感じ、様々な世代が繋がることで、人も自然も健やかな地域社会を育む。

STEP1 小さな繋がり蓄積

自然・農との繋がりを深める

専門家との活動を通して、自然・農業の理解関心を深める

- ・自然観察会・・・自然の面白さを知り、楽しむ
- ・生物のすみか作り・・・生物の気持ちになり、自ら働きかける
- ・体験の拠点作り・・・自然への配慮と人の拠点作りを実践

地域の繋がりをはぐくむ

地域に根差した取り組みをされる方と子ども・子育て世代をつなぐ

- ・地域の散策・・・気軽な散策で地域の魅力を知る
- ・拠点訪問・・・地域の活動拠点にお邪魔する
- ・地域のMAP・・・自然・農を楽しめる場を地図にして可視化

地域の自然・地域の体験の情報発信

地域の自然と体験のプラットフォームになるよう、季節に合わせた地域の魅力、様々な拠点の体験活動について発信する



STEP2 自然も人も健やかな 持続可能な地域社会へ繋げる

- ・地域の特色を活かした児童、親子、大人向けの自然体験の継続と人の繋がりを、事例として活かせるよう記録を残していく
- ・環境保全と、体験をはじめとした資源活用の両立を図る自然教育の形を検討する



理解・興味・関心
環境保全への
前向きな感覚

環境に
配慮した
まちづくり